

科目名	カット＆カラーⅠ		Subject	Cut&ColorⅠ				
サブタイトル	美容サロン技術							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
1年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
実習	2単位	60時間	○		◎	○		
ゲストスピーカー招聘回		なし						
教員名	ヘアチーム			メールアドレス	hair@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 美容師経験者：美容師としての経験をもとに、実践に即した内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
1) サロンの現場を主体とした実践教育（技術）を導入し、技術力を明確に蓄積していくと共に、サロンの現場で必要とされる技術を学び、実践を重ねることによりステップアップを図る 2) 美容技術教育プログラム・ピボットポイントシステムを基に、ヘアカットを学ぶ 3) ヘアカットの基礎理論を理解すると共にウィッグを使用して基礎テクニックを習得する 4) 映像や資料を多く使用する事で創造力を刺激し、他者のニーズを踏まえて「美」を表現するデザイン力の基盤を作り上げる 5) 習得した知識や技術を繰り返し復習し実践することで、自身の課題発見につなげ、応用する場面を想定できるようにしていく								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	あり			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP3	ヘアカット・ブローの基礎プロセスを実践する事で、サロンで必要となる美容技術の基盤作りができる							
DP1	美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習を通して基礎技術を効率的に実践できる							
DP4	世界基準のカット理論であるピボットポイントのベーシックフォームの特徴を説明できる							
教科書・教材								
教科書	『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編（2026 年）、配布プリント、HAIR SCULPTURE PIVOT POINT 2014、教員作成資料							
参考文献	『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編（2026 年）、HAIR SCULPTURE PIVOT POINT 2014							
各自準備教材	消耗品（白タオル・ラップ・輪ゴム・トリートメント等）・スマートフォン・筆記用具・ B5 大学ノート（リングノート不可）							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
60%	20%	10%	-	-	-	-	10%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
美容技術を学ぶにあたり、遅刻・欠席はスキルアップに支障が出る為、原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退出等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 美容における用具の区分と名称 美容道具の扱い方を学ぶ PIVOT POINT hair sculpture 理論 (1) ヘアデザイナーの考え方を学ぶ	美容における用具類の区分と取り扱い方を理解し、説明することができる 授業に関する諸注意を知り、 hair sculpture 基礎理論を説明できる	予習：トレンドヘアスタイルの準備を 3 点行う 復習：配布資料を熟読し、ノートにまとめ、授業内容の復習を行う	60 分
第 2 回	PIVOT POINT hair sculpture 理論 (2) シザーズの扱い方・開閉を実践する デンマンブラシの扱い方を学ぶ	シザーズの使用方法を説明できる デンマンブラシを扱うことができる	予習：道具の使用例を調べる 復習：自分の使用しやすいシザーズ、デンマンブラシの持ち方を探す	60 分
第 3 回	PIVOT POINT 基礎理論 ワンレングス (1) 課題 2-1	ワンレングスの基礎理論を述べるができる。	予習：基礎理論 (P20～26) ワンレングス理論 (P44～52) を熟読する。 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 4 回	ワンレングス 2-1 (2) 課題 2-1 を実践し、スタイル評価 (A～Z まで) を受ける	ワンレングススタイル部分をカットすることができる	予習：課題 2-1 (P27～29) を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 5 回	ワンレングス (3) 課題 2-W1 を実践し、スタイル評価 (A～Z まで) を受ける	ワンレングススタイル全体をカット＆ブローすることができる	予習：課題 2-W1 (P53～59) を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 6 回	ワンレングス (4) ブロー (1) ハンド・デンマンブラシの施術を実践する	ワンレングススタイルをハンド・デンマンブラシを使用してブローテクニックを行うことができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60 分
第 7 回	ワンレングス (5) 課題 2-W3 を実践し、スタイル評価 (A～Z まで) を受ける	ワンレングススタイル (前下がりライン) をカットすることができる	予習：課題 2-W3 (P71～78) を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 8 回	ワンレングス (6) ブロー (2) ロールブラシの施術を実践する	ワンレングススタイルをロールブラシを使用してブローテクニックを行うことができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60 分
第 9 回	ヘアカラーリング (1) color design 理論 (ヘアマニキュア) を学ぶ	ヘアマニキュアの理論を説明することができる	予習：トレンドヘアカラースタイルを調べておく 復習：授業の振り返りを行う	60 分
第 10 回	ヘアカラーリング (2) 課題 1 (12 色相環の作成) を実践する	ヘアマニキュアを使用してウィッグを染め、色味の仕上がり測定することができる	予習：美容理論 (ヘアマニキュア) を熟読する 復習：作成したウィッグを考察する	60 分
第 11 回	ヘアカラーリング (3) color design 理論 (ゼロテクニック) を学ぶ	color design 基礎理論 (ゼロテクニック) を説明することができる	予習：白髪染めカラーリング方法を調べておく 復習：授業の振り返りを行う	60 分
第 12 回	ヘアカラーリング (4) 課題 2 (ゼロテクニック) を実践する	グレイヘア用のヘアマニキュア塗布テクニック (ゼロテクニック) を行うことができる	予習：ゼロテクニックの手つきの練習を行う 復習：作成したウィッグを考察する	60 分
第 13 回	ヘアカラーリング (5) color design 理論 (アルカリカラー) を学ぶ	color design 基礎理論 (アルカリカラー) を説明することができる	予習：美容理論 (アルカリカラー) を熟読する 復習：授業の振り返りを行う	60 分
第 14 回	ヘアカラーリング (6) 課題 2 (アルカリカラーの塗布) を実践する	アルカリカラーをウィッグに塗布することができる 色味の仕上がり測定することができる	予習：アルカリカラーの色の違いを調査しノートにまとめる 復習：作成したウィッグを考察する	60 分
第 15 回	ヘアカラーリング (7) color design 理論 (ブリーチ) を学ぶ	color design 基礎理論 (ブリーチ) を説明することができる	予習：美容理論 (ブリーチ) を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第16回	ヘアカラーリング(8) 脱色剤の塗布をワンタッチで実践する	脱色剤・脱染剤をウィッグに塗布することができる 仕上がりが度合いを比較することができる	予習：女性モードアプリを活用しブリーチをしたヘアスタイルを調べてくる 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60分
第17回	シザーのセルフメンテナンス講習後、セルフメンテナンスを行う 【ゲストスピーカー：藤本 康三】	シザーセルフメンテナンスを行うことができる	予習：シザーの汚れを掃除しておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第18回	ブロー(3) ウィッグで全頭のブローの練習を行う	ウィッグをブローすることができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第19回	グラデーション(1) 基礎理論を学ぶ グラデーション(2) 課題2-2を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける	グラデーションの基礎理論を説明できる グラデーションヘアスタイルをカットすることができる	予習：グラデーション理論(P82～91)を熟読する 課題2-2(P30～32)を熟読する。 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60分
第20回	グラデーション(3) 課題2-3を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける グラデーション(4) ブロー技術を実践する	グラデーションヘアスタイルをカットすることができる グラデーションヘアスタイルをブローすることができる	予習：課題2-3(P33～36)の熟読。 ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60分
第21回	グラデーション(5) 課題2-W4を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける	グラデーションスタイル(斜め前下がりがりライン)をカットすることができる	予習：課題2-W4(P92～96)を再熟読し、予測を記入する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60分
第22回	グラデーション(6) ブロー技術を実践する	グラデーションヘアスタイルをブローすることができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第23回	グラデーション(7) 課題2-W5を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける	グラデーションスタイル(斜め後ろ下がりがりライン)をカットすることができる	予習：課題2-W5(P100～105)を再熟読し、予測を記入する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	80分
第24回	グラデーション(8) ブロー技術を実践する	グラデーションヘアスタイルをブローすることができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第25回	アドバンス(1) 課題4-W3を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける	アドバンスの基礎理論を説明できる	予習：課題4-W3(P258～265)を再熟読しする 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	80分
第26回	アドバンス(2) ブロー技術を実践する	アドバンスヘアスタイルをブローすることができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第27回	レザー、セニングシザーズの扱い方を学ぶ	レザーの使用方法を説明できる	予習：レザーの使用例を調べる 復習：授業の振り返りを行う	60分
第28回	メンズセット技術を実践する	メンズセットができる	予習：メンズセットのカatalogを熟読する 復習：授業の振り返りを行う	60分
第29回	刈り上げ(1) 基礎理論を学ぶ 刈り上げ(2) かつらで練習を行い、その後ウィッグで自由制作を行う 作品の他者評価をする	刈り上げ理論を説明することができる 刈り上げテクニックを使い、ウィッグで自由制作を行うことができる	予習：刈り上げの語源を調べる、自由制作に向けてデザインを考える。 復習：授業の振り返りを行う、他社評価の考察を行う	60分
第30回	グループワークを実践する	他者の作品および自己の作品についてプレゼンテーションができる	復習：他者の作品から得たヒントを活かし、新しい自由創作スタイルを作る	60分